

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 6 月 16 日現在

機関番号：16101

研究種目：若手研究

研究期間：2018～2022

課題番号：18K13323

研究課題名(和文) うつ病の生物学的脆弱性を改善する神経認知的介入方法の創出

研究課題名(英文) Development of neurocognitive interventions for prevention of relapse/recurrence in major depressive disorder

研究代表者

山本 哲也 (YAMAMOTO, Tetsuya)

徳島大学・大学院社会産業理工学研究部(社会総合科学域)・准教授

研究者番号：60779396

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,200,000円

研究成果の概要(和文)：うつ病の生物学的脆弱性を改善する介入手法を開発するため、仮想現実(virtual reality)をはじめとした情報通信技術に着目し、脆弱性の改善可能性を有すると考えられるデジタルメンタルヘルスクア手法を開発した。本研究で開発された仮想空間における臨床心理学的介入方法は、参加者の心理的苦痛や不安の軽減をもたらすことに加えて、従来の臨床心理学的介入方法が有していたデメリット(時間的・金銭的成本、アクセスの問題、スティグマなど)の解決につながる可能性が示唆された。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究課題は、工学、情報学、脳科学、臨床心理学といった、極めて学際性の高いアプローチであり、基礎と臨床のさまざまな研究領域をつなぐ点で学術的意義がある。さらに、うつ病に対する新たな介入手法を開発したという点のみならず、日常臨床や生活での実施可能性を最大限に考慮し、さまざまな場面での使いやすさを最大限配慮した応用研究である点に、社会的意義が認められる。

研究成果の概要(英文)：To develop intervention methods that improve the biological vulnerability of depression, we focused on information and communication technologies, including virtual reality, and developed digital mental health care techniques that are believed to have potential for improving vulnerability. The clinical psychological intervention method developed in this study within the virtual environment has shown potential for not only alleviating participants' psychological distress and anxiety but also addressing the drawbacks of traditional clinical psychological interventions, such as time and financial costs, accessibility issues, and stigma.

研究分野：臨床心理学

キーワード：仮想現実 VR うつ病 脆弱性 機械学習 認知行動療法 人工知能 AI

1. 研究開始当初の背景

うつ病の再発率は極めて高く、うつ病治療の最重要課題として再発防止への取り組みが急務である。従来の研究知見においては「日常の生活場面において、どのようにすれば効率的・効果的に脆弱性を改善できるのか」という臨床上重要な問題が残されていた。

これまで、VR空間での体験は自尊心の改善や、人種的偏見の軽減、恐怖反応の消失など、さまざまな心理学的作用をもたらすことが報告されてきた。さらに、米国精神医学会(2017)は、VR技術が有する生態学的妥当性とコントロール可能性の高さから、精神疾患の治療に有用であることを指摘している。これらの報告は、VR技術が脆弱性の改善効果を有する可能性を示唆するものと考えられる。加えて、AI技術の活用は、患者の病態に最適なコンテンツの選択を可能とすることから、効率的なVR課題の実施につながると考えられる。そのため、これらの技術に基づくVRシステムを用いることで、脆弱性の効率的で効果的な改善が期待される。

2. 研究の目的

本研究では、従来の臨床心理学的手法の再発予防効果を大きく増強することを目的として、VR技術とAI技術を活用したアセスメント手法と介入手法を開発する。

3. 研究の方法

(1) 情報端末機器, ウェアラブルデバイス AI による心身の状態推定

スマートフォンとスマートウォッチで収集された心理的情報(例:気分, 思考)や, 生物学的情報(例:心拍, 睡眠), および社会的情報(例:対人接触, 活動量)に対して(以下, ライフログ情報), 機械学習法を活用することにより, 心身の状態に関する推定を行った。

(2) 仮想環境内での自己対話による効果検討

仮想環境において自己と他者の3Dアバターを配置し, アバターの視点を入れ替えることによる自己対話システム(VRセルフカウンセリング)を構築し, 効果検討をおこなった。

4. 研究成果

主要な成果として, (1) 幸福感の増減パターンの予測, (2) うつ病再発兆候の早期検出と対処方略の提案, および(3) 人々の苦悩を早期にやわらげるVRセルフカウンセリングシステムを可能とする技術開発を行なった。

(1) 幸福感の増減パターンの予測

約8ヶ月間収集されたライフログ情報に対して, 機械学習法を適用し, どのような行動をとればその個人の幸福感が増大するか, といった予測モデルを構築している。本研究の結果, 人工知能が幸福感の高い日を一定の精度で予測できることが示された(全体で82.6%の正答率)。そのため, こうした技術を活用することによって, 個人にとって幸福感が高まる生活の仕方を具体的に提案可能であることが示唆された(図1, 図2)。

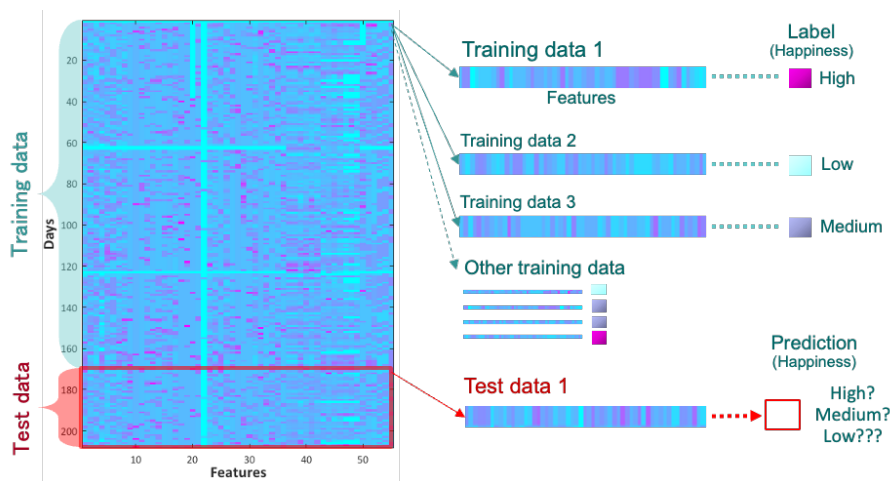


図1. ライフログ情報に基づく幸福感予測モデルの構築

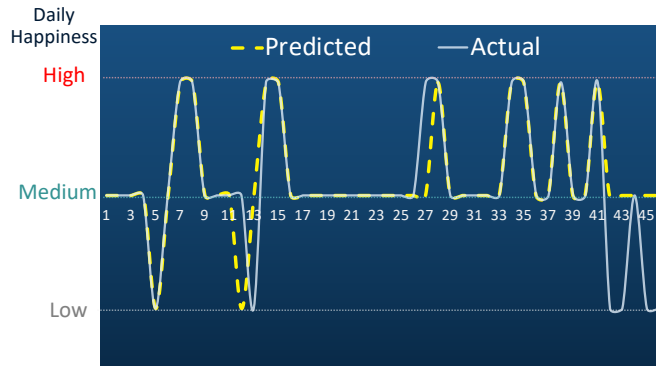


図 2. 幸福感の推定結果

(2) うつ病再発兆候の早期検出と対処方略の提案

うつ病寛解者の約 10 ヶ月間のライフログに対して、2 種類の機械学習法を階層的に適用している。その結果、うつ病寛解者における再発パターンが可視化され、候補者が構築した人工知能モデルは、うつ病の再発を高い精度で予測できた(全体で 90.3%の正答率)。そのため本技術は、再発予防に最も効果的な治療戦略を数理的に推定可能であり、予防法の提案に寄与しうると考えられる (図 3)。

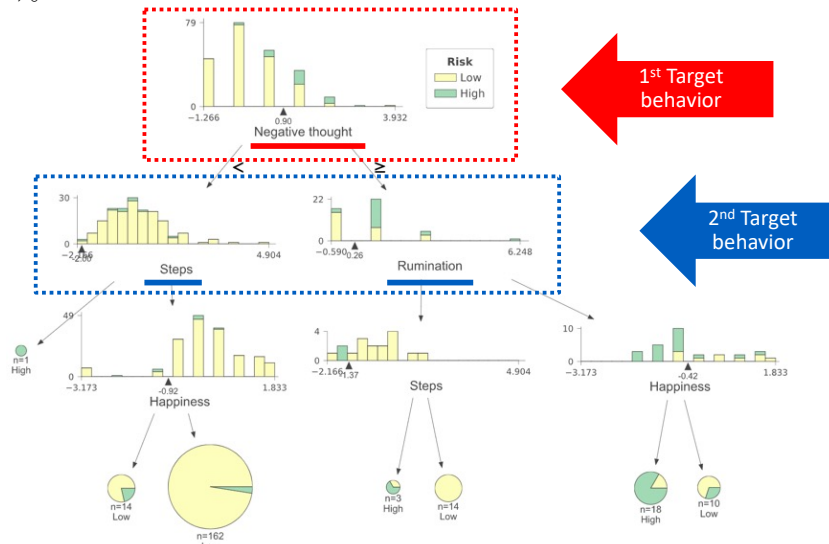


図 3. 提案された対処方略の例

(3) 人々の苦悩を早期にやわらげる VR セルフカウンセリングシステム

仮想現実 (バーチャルリアリティ, 以下 VR) 技術に着目した。まず、参加者本人の 3D アバターと、参加者を大切に思っている他者 (親, 親友など) の 3D アバターを作成し、仮想空間に位置付けた。そして、その仮想空間内において、参加者と相手のアバターの視点をいれかえながら、自分の苦悩について自己対話ができる VR セルフカウンセリング技術を開発した。本研究の結果、すべての参加者において、苦悩と不安の減少が示された。開発された VR 技術は一人で実施することが可能であるため、悩みを他者に相談できない人々に対する本技術の有効性が示唆された (図 4)。

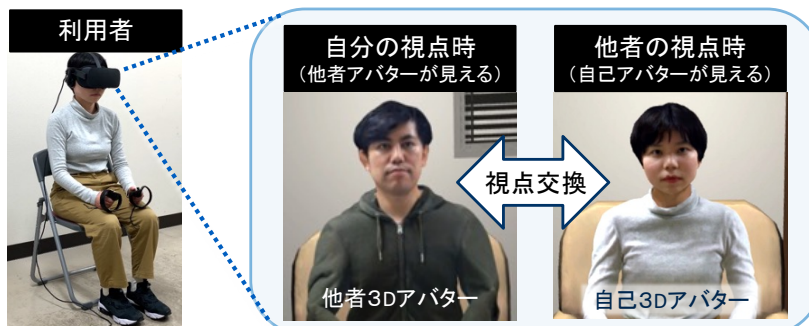


図 4. VR セルフカウンセリングの概要

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計46件（うち査読付論文 41件 / うち国際共著 25件 / うちオープンアクセス 38件）

1. 著者名 国里愛彦, 山本哲也	4. 巻 64
2. 論文標題 マインドフルネス研究の未来を切り開く新たな方法論	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 心理学評論	6. 最初と最後の頁 599-618
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24602/sjpr.64.4_599	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Tetsuya Yamamoto, Chigusa Uchiumi, Naho Suzuki, Nagisa Sugaya, Eric Murillo-Rodriguez, Sergio Machado, Claudio Imperatori, Henning Budde	4. 巻 12
2. 論文標題 Mental health and social isolation under repeated mild lockdowns in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 8452:1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-022-12420-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Akira Hasegawa, Shin-ichi Oura, Tetsuya Yamamoto, Yoshihiko Kunisato, Yoshikazu Fukui	4. 巻 -
2. 論文標題 Preliminary validation of the self-report measure assessing experiences of negative independent and dependent event frequency in Japanese university students?	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Rational-Emotive & Cognitive-Behavior Therapy	6. 最初と最後の頁 1-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10942-022-00469-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Chiara Massullo, Francesco Saverio Bersani, Giuseppe Alessio Carbone, Angelo Panno, Benedetto Farina, Eric Murillo-Rodriguez, Tetsuya Yamamoto, Sergio Machado, Henning Budde, Claudio Imperatori	4. 巻 81
2. 論文標題 Decreased resting state inter- and intra-network functional connectivity is associated with perceived stress in a sample of university students: an eLORETA study?	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neuropsychobiology	6. 最初と最後の頁 286-295
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000521565	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yuko Yamashita, Tetsuya Yamamoto	4. 巻 -
2. 論文標題 Virtual Reality Heals My Reality: The Effect of Virtual Reality Self-Counseling with the Intimate Other Avatar	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 PsyArXiv	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.31234/osf.io/fcda8	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Benedetta Ramella-Zampa, Giuseppe Alessio Carbone, Angelo Panno, Matheus Santos, Claudio Imperatori, Henning Budde, Eric Murillo-Rodriguez, Tetsuya Yamamoto, Sergio Machado	4. 巻 2
2. 論文標題 Understanding and conceptualizing eSports among behavioural addictions: a brief overview of the literature	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Emerging Trends in Drugs, Addictions, and Health	6. 最初と最後の頁 100048:1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.etdah.2022.100048	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sergio Machado, Diogo Teixeira, Diogo Monteiro, Claudio Imperatori, Eric Murillo-Rodriguez, Fernanda Pereira da Silva Rocha, Tetsuya Yamamoto, Sandra Amatriain-Fernandez, Henning Budde, Mauro Giovanni Carta, Leonardo Caixeta, Alberto Souza de, Sa Filho	4. 巻 22
2. 論文標題 Clinical applications of exercise in Parkinson's disease: what we need to know?	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Expert Review of Neurotherapeutics	6. 最初と最後の頁 771-780
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/14737175.2022.2128768	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shigeyuki Takai, Akira Hasegawa, Jun Shigematsu, Tetsuya Yamamoto	4. 巻 -
2. 論文標題 Do people who highly value happiness tend to ruminate?	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Current Psychology	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12144-022-04131-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nagisa Sugaya, Tetsuya Yamamoto, Naho Suzuki, Chigusa Uchiimi	4. 巻 20
2. 論文標題 Change in Alcohol Use during the Prolonged COVID-19 Pandemic and Its Psychosocial Factors: A One-Year Longitudinal Study in Japan?	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 3871:1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph20053871	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山本哲也, 山下裕子	4. 巻 30
2. 論文標題 バーチャルリアリティの臨床応用: 仮想現実とアバターを活用したメンタルヘルスケア	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 産業ストレス研究	6. 最初と最後の頁 207-213
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki Naho, Yamamoto Tetsuya, Uchiimi Chigusa, Sugaya Nagisa	4. 巻 18
2. 論文標題 Effects of Interoceptive Sensibility on Mental Health during the Coronavirus Disease 2019 Pandemic	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 1~11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph18094616	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Quiroga Carla, Barberena Juan Jose, Alcaraz-Silva Jocelyne, Machado Sergio, Imperatori Claudio, Yadollahpour Ali, Budde Henning, Yamamoto Tetsuya, Telles-Correia Diogo, Murillo-Rodriguez Eric	4. 巻 21
2. 論文標題 The Role of Peroxisome Proliferator-Activated Receptor in Addiction: A Novel Drug Target	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Current Topics in Medicinal Chemistry	6. 最初と最後の頁 964~975
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2174/1568026621666210521165532	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 横光健吾, 高階光梨, 山本哲也	4. 巻 48
2. 論文標題 遠隔心理支援における認知行動療法の基礎と課題	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 認知行動療法研究	6. 最初と最後の頁 135-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24468/jjbct.20-043	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hasegawa Akira, Matsumoto Noboru, Yamashita Yuko, Tanaka Keisuke, Kawaguchi Jun, Yamamoto Tetsuya	4. 巻 86
2. 論文標題 Response inhibition deficits are positively associated with trait rumination, but attentional inhibition deficits are not: aggressive behaviors and interpersonal stressors as mediators	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Psychological Research	6. 最初と最後の頁 858 - 870
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00426-021-01582-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sugaya Nagisa, Yamamoto Tetsuya, Suzuki Naho, Uchiumi Chigusa	4. 巻 11
2. 論文標題 Social isolation and its psychosocial factors in mild lockdown for the COVID-19 pandemic: a cross-sectional survey of the Japanese population	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 BMJ Open	6. 最初と最後の頁 e048380:1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/bmjopen-2020-048380	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murillo-Rodriguez Eric, Millán-Aldaco Diana, Arankowsky-Sandoval Gloria, Yamamoto Tetsuya, Pertwee Roger G., Parker Linda, Mechoulam Raphael	4. 巻 3
2. 論文標題 Assessing the treatment of cannabidiolic acid methyl ester: a stable synthetic analogue of cannabidiolic acid on c-Fos and NeuN expression in the hypothalamus of rats	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Cannabis Research	6. 最初と最後の頁 1~8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s42238-021-00081-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Murillo Rodriguez Eric, Arankowsky Sandoval Gloria, Budde Henning, Imperatori Claudio, Machado Sergio, Yamamoto Tetsuya, Yadollahpour Ali, Torterolo Pablo	4. 巻 54
2. 論文標題 In vivo brain levels of acetylcholine and 5 hydroxytryptamine after oleoylethanolamide or palmitoylethanolamide administrations are mediated by PPAR engagement	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 European Journal of Neuroscience	6. 最初と最後の頁 5932 ~ 5950
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ejn.15409	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamamoto Tetsuya, Uchiumi Chigusa, Suzuki Naho, Sugaya Nagisa, Murillo-Rodriguez Eric, Machado Sergio, Imperatori Claudio, Budde Henning	4. 巻 -
2. 論文標題 The influence of repeated mild lockdown on mental and physical health during the COVID-19 pandemic: a large-scale longitudinal study in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 medRxiv	6. 最初と最後の頁 1 ~ 20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1101/2021.08.10.21261878	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamashita Yuko, Yamamoto Tetsuya	4. 巻 12
2. 論文標題 Perceiving Positive Facial Expression Can Relieve Depressive Moods: The Effect of Emotional Contagion on Mood in People With Subthreshold Depression	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	6. 最初と最後の頁 1 ~ 9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2021.535980	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugaya Nagisa, Yamamoto Tetsuya, Suzuki Naho, Uchiumi Chigusa	4. 巻 18
2. 論文標題 Alcohol Use and Its Related Psychosocial Effects during the Prolonged COVID-19 Pandemic in Japan: A Cross-Sectional Survey	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 1 ~ 13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph182413318	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Massullo Chiara, Bersani Francesco Saverio, Carbone Giuseppe Alessio, Panno Angelo, Farina Benedetto, Murillo-Rodriguez Eric, Yamamoto Tetsuya, Machado Sergio, Budde Henning, Imperatori Claudio	4. 巻 -
2. 論文標題 Decreased Resting State Inter- and Intra-Network Functional Connectivity Is Associated with Perceived Stress in a Sample of University Students: An eLORETA Study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Neuropsychobiology	6. 最初と最後の頁 1~10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000521565	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 浅川凌, 山本哲也	4. 巻 29
2. 論文標題 愛着の“見捨てられ不安”と関係効力性が恋愛関係の満足度と与える影響の検討	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 人間科学研究	6. 最初と最後の頁 85~96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hasegawa Akira, Oura Shin-ichi, Yamamoto Tetsuya, Kunisato Yoshihiko, Matsuda Yuko, Adachi Masaki	4. 巻 -
2. 論文標題 Causes and consequences of stress generation: Longitudinal associations of negative events, aggressive behaviors, rumination, and depressive symptoms	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Current Psychology	6. 最初と最後の頁 1~10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12144-022-02859-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sugaya Nagisa, Yamamoto Tetsuya, Suzuki Naho, Uchiyumi Chigusa	4. 巻 8
2. 論文標題 The Transition of Social Isolation and Related Psychological Factors in 2 Mild Lockdown Periods During the COVID-19 Pandemic in Japan: Longitudinal Survey Study	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 JMIR Public Health and Surveillance	6. 最初と最後の頁 e32694:1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2196/32694	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki Naho, Yamamoto Tetsuya, Uchiumi Chigusa, Sugaya Nagisa	4. 巻 22
2. 論文標題 Socio-economic and behavioral characteristics associated with COVID-19 vaccine hesitancy under a declared state of emergency in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Brain, Behavior, & Immunity - Health	6. 最初と最後の頁 1~4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbih.2022.100448	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murillo-Rodriguez Eric, Budde Henning, Veras Andre Barciela, Rocha Nuno Barbosa, Telles-Correia Diogo, Monteiro Diogo, Cid Luis, Yamamoto Tetsuya, Machado Sergio, Torterolo Pablo	4. 巻 18
2. 論文標題 The Endocannabinoid System May Modulate Sleep Disorders in Aging	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Current Neuropharmacology	6. 最初と最後の頁 97~108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2174/1570159X17666190801155922	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hasegawa Akira, Matsumoto Noboru, Yamashita Yuko, Tanaka Keisuke, Kawaguchi Jun, Yamamoto Tetsuya	4. 巻 62
2. 論文標題 Do shorter inter stimulus intervals in the go/no go task enable better assessment of response inhibition?	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scandinavian Journal of Psychology	6. 最初と最後の頁 118~124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/sjop.12679	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sa Filho Alberto Souza, Miranda Thiago Gottgroy, de Paula Carolina Cavalcante, Barsanulfo Silvio Roberto, Teixeira Diogo, Monteiro Diogo, Cid Luis, Imperatori Claudio, Yamamoto Tetsuya, Murillo-Rodriguez Eric, Amatriain Fernandez Sandra, Budde Henning, Machado Sergio	4. 巻 11
2. 論文標題 COVID-19 and Quarantine: Expanding Understanding of How to Stay Physically Active at Home	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2020.566032	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sugaya Nagisa, Yamamoto Tetsuya, Suzuki Naho, Uchiumi Chigusa	4. 巻 7
2. 論文標題 A real-time survey on the psychological impact of mild lockdown for COVID-19 in the Japanese population	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Data	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41597-020-00714-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Murillo-Rodriguez Eric, Yamamoto Tetsuya, Monteiro Diogo, Budde Henning, Rocha Nuno Barbosa, Cid Luis, Teixeira Diogo S., Telles-Correia Diogo, Veras Andre Barciela, Machado Sergio, Imperatori Claudio, Torterolo Pablo	4. 巻 4
2. 論文標題 Assessing the Management of Excessive Daytime Sleepiness by Napping Benefits	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sleep and Vigilance	6. 最初と最後の頁 117 ~ 123
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s41782-020-00090-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamamoto Tetsuya, Uchiumi Chigusa, Suzuki Naho, Yoshimoto Junichiro, Murillo-Rodriguez Eric	4. 巻 17
2. 論文標題 The Psychological Impact of 'Mild Lockdown' in Japan during the COVID-19 Pandemic: A Nationwide Survey under a Declared State of Emergency	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 9382:1-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph17249382	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Amatriain-Fernandez Sandra, Budde Henning, Gronwald Thomas, Quiroga Carla, Carreon Cristina, Viana-Torre Gerardo, Yamamoto Tetsuya, Imperatori Claudio, Machado Sergio, Murillo-Rodriguez Eric	4. 巻 19
2. 論文標題 The Endocannabinoid System as Modulator of Exercise Benefits in Mental Health	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Current Neuropharmacology	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2174/1570159x19666201218112748	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Murillo-Rodriguez Eric, Machado Sergio, Imperatori Claudio, Yamamoto Tetsuya, Budde Henning	4. 巻 1297
2. 論文標題 Natural Cannabinoids as Templates for Sleep Disturbances Treatments	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Advances in Experimental Medicine and Biology	6. 最初と最後の頁 133 ~ 141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-030-61663-2_9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 山本哲也・吉本潤一郎	4. 巻 48
2. 論文標題 機械学習アプローチの臨床応用：デジタル革新がもたらすメンタルヘルスケアの新たな形	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 認知行動療法研究	6. 最初と最後の頁 23-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24468/jjbct.20-040	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Coronado-Alvarez Astrid, Romero-Cordero Karen, Macias-Triana Lorena, Tatum-Kuri Agnes, Vera-Barron Alba, Budde Henning, Machado Sergio, Yamamoto Tetsuya, Imperatori Claudio, Murillo-Rodriguez Eric	4. 巻 110
2. 論文標題 The synthetic CB1 cannabinoid receptor selective agonists: Putative medical uses and their legalization	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Progress in Neuro-Psychopharmacology and Biological Psychiatry	6. 最初と最後の頁 110301:1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.pnpbp.2021.110301	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sergio Machado, Joao Lucas Maciel de Lima, Flavia Paes, Diogo Monteiro, Joao Moutao, Luis Cid, Eric Murillo-Rodriguez, Tetsuya Yamamoto	4. 巻 12
2. 論文標題 Physical Exercise and Geriatric Depression: An Opinion	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Revista Psicologia e Saude	6. 最初と最後の頁 115-126
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20435/pssa.v12i1.807	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Eric Murillo-Rodriguez, Diana Millan-Aldaco, Gloria Arankowsky-Sandoval, Tetsuya Yamamoto, Luis Cid, Diogo Monteiro, Nuno Barbosa Rocha, Diogo Telles-Correia, Diogo S. Teixeira, Andre Barciela Veras, Henning Budde, Sergio Machado, Claudio Imperatori and Pablo Torterolo	4. 巻 237
2. 論文標題 The retinoid X receptor: A nuclear receptor that modulates the sleep-wake cycle in rats	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Psychopharmacology	6. 最初と最後の頁 2055-2073
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00213-020-05518-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Joao Lucas Lima, Glaciane Axt, Diogo S. Teixeira, Diogo Monteiro, Luis Cid, Tetsuya Yamamoto, Eric Murillo-Rodriguez and Sergio Machado	4. 巻 16
2. 論文標題 Exergames for Children and Adolescents with Autism Spectrum Disorder: An Overview	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Clinical Practice & Epidemiology in Mental Health	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2174/1745017902016010001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Yamamoto T, Yoshimoto J, Murillo-Rodriguez E, Machado S	4. 巻 11
2. 論文標題 Prediction of daily happiness using supervised learning of multimodal lifelog data	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Revista Psicologia e Saude	6. 最初と最後の頁 145-152
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20435/pssa.v11i2.823	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Higuera-Hernandez MF, Reyes-Cuapio E, Gutierrez-Mendoza M, Budde H, Blanco-Centurion C, Veras AB, Rocha NB, Yamamoto T	4. 巻 60
2. 論文標題 Blueberry intake included in hypocaloric diet decreases weight, glucose, cholesterol, triglycerides and adenosine levels in obese subjects	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Functional Foods	6. 最初と最後の頁 103409:1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jff.2019.06.011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 山本哲也	4. 巻 18(1)
2. 論文標題 臨床応用を学ぶー神経認知療法・神経行動療法	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 臨床心理学	6. 最初と最後の頁 45～47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本哲也	4. 巻 11(1)
2. 論文標題 神経認知療法ー神経科学は認知行動療法を増強するー	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 認知療法研究	6. 最初と最後の頁 13～22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gronwald Thomas, Velasques Bruna, Ribeiro Pedro, Machado Sergio, Murillo-Rodriguez Eric, Ludyga Sebastian, Yamamoto Tetsuya, Budde Henning	4. 巻 115
2. 論文標題 Increasing exercise 's effect on mental health: Exercise intensity does matter	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences	6. 最初と最後の頁 E11890～E11891
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1818161115	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamamoto Tetsuya, Sugaya Nagisa, Siegle Greg J., Kumano Hiroaki, Shimada Hironori, Machado Sergio, Murillo-Rodriguez Eric, Rocha Nuno B., Nardi Antonio E., Takamura Masahiro, Okamoto Yasumasa, Yamawaki Shigeto	4. 巻 9
2. 論文標題 Altered Gamma-Band Activity as a Potential Biomarker for the Recurrence of Major Depressive Disorder	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychiatry	6. 最初と最後の頁 1～9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsy.2018.00691	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Rocha Nuno Barbosa, Lemos Andreia, Campos Carlos, Rocha Susana, Yamamoto Tetsuya, Machado Sergio, Murillo-Rodriguez Eric	4. 巻 10
2. 論文標題 Attachment Dimensions and Spatial Navigation in Female College Students: The Role of Comfort With Closeness and Confidence in Others	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Psychology	6. 最初と最後の頁 1~9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpsyg.2019.00235	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Murillo-Rodriguez Eric, Arankowsky-Sandoval Gloria, Barros Jorge Aparecido, Rocha Nuno Barbosa, Yamamoto Tetsuya, Machado Sergio, Budde Henning, Telles-Correia Diogo, Monteiro Diogo, Cid Luis, Veras Andre Barciela	4. 巻 13
2. 論文標題 Sleep and Neurochemical Modulation by DZNep and GSK-J1: Potential Link With Histone Methylation Status	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Neuroscience	6. 最初と最後の頁 1~17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnins.2019.00237	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計53件(うち招待講演 20件/うち国際学会 6件)

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 成人の発達障害の理解と対応
3. 学会等名 精神科臨床薬学研究会(PCP)ブロック講演会 in KINKI (Web会議) (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 人工知能技術と情報通信技術を活用した認知・感情・創造性の拡張
3. 学会等名 日本心理学会第86回大会, 大会公募シンポジウム「情報科学とロボット工学が拓く発達・知覚・臨床心理学の新たな学術領域」(Web会議)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 情報通信技術を活用した臨床心理学的アプローチの実際
3. 学会等名 一般社団法人 公認心理師の会 2022年度年次総会 (Web会議) (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 よりよく生きるための人工知能技術と情報通信技術の活用
3. 学会等名 第6回行動科学セミナー (国立がん研究センターがん対策研究所) (Web会議) (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山本哲也, 吉本潤一郎
2. 発表標題 認知行動療法における機械学習アプローチ
3. 学会等名 日本認知・行動療法学会第48回大会 ワークショップ (WS7) (Web会議) (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 事例で学ぶ論文投稿と査読対応のABC
3. 学会等名 日本健康心理学会第35回大会, 日本健康心理学会機関誌編集委企画シンポジウム「論文投稿と審査過程における留意点 -日本健康心理学会における論文投稿に関する情報共有と活性化を目指して-」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 デジタルマインドフルネス 瞑想の実践を支援するテクノロジーの活用
3. 学会等名 日本マインドフルネス学会 第9回大会 シンポジウムII「脳の変化からマインドフルネスを理解する」(Web会議)(招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 ウェルビーイングの向上に寄与する人工知能技術と情報通信技術の活用
3. 学会等名 SOMPOインスティテュート・プラス 未来アカデミー(Web会議)(招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 AI・ICTを活用した行動科学と社会実装
3. 学会等名 行動科学学会 第38回ウィンターカンファレンス2023 教育講演(Web会議)(招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 人工知能と協働して江戸川乱歩を精読する
3. 学会等名 特設科研『言説を動かす情動とファシズムの変貌：テキストマイニングによる独伊仏日の資料分析』第4回研究集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tetsuya Yamamoto
2. 発表標題 A clinical psychoinformatics approach for detection of recurrence patterns in recovered depression
3. 学会等名 The 32nd International Congress of Psychology (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tetsuya Yamamoto
2. 発表標題 Clinical Psychoinformatics Approaches for Improving Quality of Life
3. 学会等名 2021 Japan-America Frontiers of Engineering Symposium (JAF0E) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 情報通信技術・人工知能技術の進歩と心理学
3. 学会等名 日本心理学会第85回大会，大会公募シンポジウム「情報通信技術を活用した心理学研究と臨床応用」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 テキストマイニングと機械学習の活用は文学作品の考察を深化させる
3. 学会等名 日本心理学会第85回大会，大会公募シンポジウム「心理学のデジタルトランスフォーメーションに向けて」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山本 哲也
2. 発表標題 お茶で人生100年時代を豊かに生きる知恵～感染症時代のストレス対処術と“茶の効用”～
3. 学会等名 第5回 伊藤園健康フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山本 哲也, 内海千種, 鈴木菜穂, 菅谷 渚
2. 発表標題 コロナ禍に起因する自粛生活が心身の健康にもたらす影響 –計4回の緊急事態宣言下における前向きコホート研究–
3. 学会等名 慶應義塾大学パネルデータ設計・解析センター 第21回パネル調査カンファレンス（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鈴木 菜穂, 山本 哲也, 内海 千種, 菅谷 渚
2. 発表標題 新型コロナウイルス感染症のパンデミック下における内受容感覚の鋭敏さが精神的健康に与える影響
3. 学会等名 日本心理学会第85回大会発表論文集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山下 裕子, 山本 哲也
2. 発表標題 親密他者の視点取得を活用したVRセルフカウンセリングの効果
3. 学会等名 日本心理学会第85回大会発表論文集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 長谷川 晃, 松本 昇, 山下 裕子, 田中 圭介, 川口 潤, 山本 哲也
2. 発表標題 抑制機能の2下位分類と反すうの関連－反応抑制と注意の抑制の比較－
3. 学会等名 日本心理学会第85回大会発表論文集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山本哲也 内海千種 鈴木菜穂 菅谷 渚
2. 発表標題 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大に起因する反復的・持続的な自粛生活が心身の健康にもたらす影響－緊急事態宣言下における大規模オンライン縦断調査－
3. 学会等名 日本心理学会第85回大会発表論文集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鈴木 菜穂, 山本 哲也, 内海 千種, 菅谷 渚
2. 発表標題 緊急事態宣言下における内受容感覚の鋭敏さの男女差が精神的健康に与える影響
3. 学会等名 日本認知・行動療法学会第47回大会発表論文集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山下 裕子, 山本 哲也
2. 発表標題 仮想世界における体験があなたの悩みを改善する VR 技術を活用したセルフカウンセリングの効果
3. 学会等名 日本認知・行動療法学会第47回大会発表論文集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山本哲也, 内海千種, 鈴木菜穂, 菅谷渚
2. 発表標題 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況で生じる希死念慮の予測因子の同定～計4回の緊急事態宣言下における前向きコホート研究～
3. 学会等名 第28回日本行動医学会学術総会抄録集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 機械学習の臨床応用ー心の脆弱性を理解するー
3. 学会等名 徳島大学研究クラスターシンポジウム 脳・心・運動×機械学習・AI (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 情報通信技術を活用して心身の問題を解決する
3. 学会等名 2020年度第12回脳科学クラスター・ミニリトリート (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 情報技術を活用した心性の可視化・予測・制御
3. 学会等名 『予測的符号化の原理による心性の創発と共有-認知科学・人文学・情報学の統合的研究-』研究集会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 緊急事態宣言下における日本国民のメンタルヘルスの特徴
3. 学会等名 「言説と情動」研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 情動を可視化・予測する心理情報学的アプローチ
3. 学会等名 『言説を動かす情動とファシズムの変貌：テキストマイニングによる独伊仏日の資料分析』第3回研究集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 機械学習アプローチ
3. 学会等名 日本認知・行動療法学会第46回大会，自主企画シンポジウム「認知行動療法研究の新時代を切り開く研究法」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 認知行動療法に寄与する心理情報学的アプローチの展開
3. 学会等名 日本認知・行動療法学会第46回大会，自主企画シンポジウム「臨床心理情報学 臨床実践と研究に活かす情報技術」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山本哲也, 内海千種, 鈴木菜穂, 菅谷渚, 吉本潤一郎, Eric Murillo-Rodriguez
2. 発表標題 緊急事態宣言下におけるメンタルヘルスの実態と危険因子・保護因子の解明
3. 学会等名 第27回日本行動医学会学術総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Tetsuya Yamamoto, Yuko Yamashita
2. 発表標題 Mental Health-Focused Behavioral Intervention Technologies for Education
3. 学会等名 Workshop on Learning Science: Toward Advanced Learning Support Platform in Society 5.0 Era (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 心を可視化・予測する心理情報学的アセスメント技術の開発
3. 学会等名 日本心理学会第83回大会, 大会公募シンポジウム「心理学から心理科学へ」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 臨床心理情報学 ―情報技術を活用した臨床心理学研究法―
3. 学会等名 日本心理学会第83回大会, 大会公募シンポジウム「基礎と臨床をつなぐ」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本哲也, 吉本潤一郎
2. 発表標題 ネガティブ気分を生成する心的動態を可視化する – ネットワーク解析とデバイスを活用した心理情報学的アセスメント技術の開発 –
3. 学会等名 日本心理学会第83回大会発表論文集
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山下裕子, 境 泉洋, 佐竹昌之, 佐藤 裕, 山本哲也
2. 発表標題 表情模倣による情動伝染の生起過程についての検討
3. 学会等名 日本心理学会第83回大会発表論文集
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 心を可視化・予測・制御する心理情報学的アプローチ
3. 学会等名 感情と思考の科学研究会第13回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamamoto, T, Yoshimoto, J
2. 発表標題 A personalized approach to health using machine learning techniques of multimodal lifelog data
3. 学会等名 9th World Congress of Behavioural & Cognitive Therapies (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yamashita, Y, Sakai, M, Satake, M, Sato, Y, Yamamoto, T
2. 発表標題 The mechanism and application of emotional contagion: The possibility of improvement in depressive moods
3. 学会等名 9th World Congress of Behavioural & Cognitive Therapies (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 個人に最適化されたうつ病再発兆候の早期発見技術の開発 -心理・社会・生物学的データに対する機械学習法の適用-
3. 学会等名 第16回うつ病学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 Promise of Clinical Application of Technology: Does it work?
3. 学会等名 日本認知・行動療法学会第45回大会, 自主企画シンポジウム「スマートフォンを活用したわが国のメンタルヘルスケアサービスの現状と課題」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 機械学習と生物心理社会的情報を活用した健康増進技術の開発
3. 学会等名 徳島大学病院精神科神経科勉強会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 個人に最適化されたうつ病再発兆候の早期発見技術の開発 -心理・社会・生物学的データに対する機械学習法の適用 -
3. 学会等名 第16回うつ病学会総会 学会奨励賞受賞講演（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 神経科学から見た新たな健康アセスメントとその評価
3. 学会等名 日本健康心理学会第31回大会，日本健康心理学会記念出版委員会企画シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 心理学研究におけるビッグデータの活用方法
3. 学会等名 日本健康心理学会第31回大会，日本健康心理学会研究推進委員会企画シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 科学技術を心理臨床実践に活用する
3. 学会等名 日本心理学会第82回，大会公募シンポジウム「明日から使える研究知見・技術の臨床応用方法」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 認知行動療法の実践に寄与する科学技術の応用方法
3. 学会等名 日本認知・行動療法学会第44回大会，自主企画シンポジウム「メンタルヘルス領域への科学技術の応用」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 Behavioral Intervention Technologies Enhance Psychological Assessments and Clinical Interventions
3. 学会等名 関西医科大学大学院講座（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 心理臨床実践に活かす神経認知的アプローチとテクノロジー
3. 学会等名 認知療法 / 認知行動療法セミナー（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 機械学習を活用したライフスタイルの可視化と制御
3. 学会等名 感情と思考の科学研究会第10回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 VR技術が心身の健康に及ぼす効果
3. 学会等名 感情と思考の科学研究会第11回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山本哲也
2. 発表標題 幸せになるために今日できることー幸福感を予測する人工知能技術ー
3. 学会等名 日本心理学会第82回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Tetsuya Yamamoto, Junichiro Yoshimoto
2. 発表標題 Artificial Intelligence-Based Approaches for Health Behavior Change
3. 学会等名 Association for Behavioral and Cognitive Therapies 52nd Annual Convention, Washington, D.C. (国際学会)
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計15件

1. 著者名 山本哲也 (分担執筆)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 450
3. 書名 予測と創発	

1. 著者名 山本哲也	4. 発行年 2022年
2. 出版社 全国社会福祉協議会	5. 総ページ数 323
3. 書名 社会福祉学習双書2022 第11巻心理学と心理の支援 (担当範囲:4. 認知行動療法, 10. 対人関係療法)	

1. 著者名 Chiara Massullo, Giuseppe A. Carbone, Eric Murillo-Rodriguez, Sergio Machado, Henning Budde, Tetsuya Yamamoto, Claudio Imperatori	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Elsevier	5. 総ページ数 306
3. 書名 Methodological Approaches for Sleep and Vigilance Research (担当範囲:Chapter 6. Electroencephalography power spectra and electroencephalography functional connectivity in sleep)	

1. 著者名 Tetsuya Yamamoto, Junichiro Yoshimoto, Jocelyne Alcaraz-Silva, Eric Murillo-Rodriguez, Claudio Imperatori, Sergio Machado, Henning Budde	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Elsevier	5. 総ページ数 306
3. 書名 Methodological Approaches for Sleep and Vigilance Research (担当範囲:Chapter 13. Clinical Psychoinformatics: A Novel Approach to Behavioral States and Mental Health Care Driven by Machine Learning)	

1. 著者名 Eric Murillo-Rodriguez, Sergio Machado, Claudio Imperatori, Tetsuya Yamamoto, Henning Budde	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Springer Nature Switzerland AG	5. 総ページ数 183
3. 書名 Cannabinoids and Sleep Molecular, Functional and Clinical Aspects (担当範囲:Natural Cannabinoids as Templates for Sleep Disturbances Treatments)	

1. 著者名 山本哲也	4. 発行年 2020年
2. 出版社 朝倉書店	5. 総ページ数 148
3. 書名 公認心理師の向き合う精神障害 うつ病の心理学的見方・考え方 (担当範囲:2章 うつ病の生理・神経心理学的理解)	

1. 著者名 山本哲也	4. 発行年 2020年
2. 出版社 全国社会福祉協議会	5. 総ページ数 321
3. 書名 社会福祉学習双書2021 第11巻心理学 (担当範囲:4. 認知行動療法, 10. 対人関係療法)	

1. 著者名 山本哲也, 竹林由武	4. 発行年 2020年
2. 出版社 誠信書房	5. 総ページ数 176
3. 書名 遠隔心理支援 物理的距離を超えてケアを継続するヒント (担当範囲:第7章 ウェブベースドな支援)	

1. 著者名 山本哲也	4. 発行年 2020年
2. 出版社 学研メディカル秀潤社	5. 総ページ数 178
3. 書名 第2回 公認心理師試験問題解説 (担当範囲:7. 知覚及び認知(1)人の感覚・知覚の機序及びその障害, 9. 感情及び人格(1)感情に関する理論と感情喚起の機序)	

1. 著者名 山本哲也, 岩満優美, 田中芳幸, 井澤修平, 岡村尚昌, 鈴木 平, 大木桃代, 小関俊祐, 嶋田洋徳, 上地広昭, 赤松利恵, 岡 浩一朗, 岡安孝弘, 岸 太一, 鈴木伸一, 田中共子, 福岡欣治, 當目雅代, 島津明人, 伊藤 拓, 山蔦圭輔他	4. 発行年 2019年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 746
3. 書名 健康心理学事典	

1. 著者名 山本哲也, 嶋田洋徳, 熊野宏昭, 坂井 誠, 坂野雄二, 杉山雅彦, 丹野義彦, 松見淳子, 飯倉康郎, 石川信一, 伊藤義徳, 金井嘉宏, 境 泉洋, 佐藤 寛, 清水栄司, 田中恒彦, 谷 晋二, 井上雅彦, 岩永 誠, 大月友他	4. 発行年 2019年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 832
3. 書名 認知行動療法事典	

1. 著者名 山本哲也(分担執筆)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 金子書房	5. 総ページ数 512
3. 書名 集団認知行動療法の理論と実践(担当範囲:第8章強迫症(Obsessive-Compulsive Disorder)、第10章抑うつ(Depression))	

1. 著者名 山本哲也(分担執筆)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 金子書房	5. 総ページ数 496
3. 書名 カウンセリングにおけるアセスメントの原理と適用[第4版](担当範囲:第16章 科学技術の適用と将来の動向(Technological Application and Future Trends))	

1. 著者名 山本哲也 (分担執筆)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 学研メディカル秀潤社	5. 総ページ数 176
3. 書名 第1回 公認心理師試験問題解説 (担当範囲: 問7、問79、問82)	

1. 著者名 Eric Murillo-Rodriguez, Tetsuya Yamamoto, Andre Barciela Veras, Nuno Barbosa Rocha, Diogo Telles-Correira, Sergio Machado, Diogo Monteiro, Henning Budde, Pablo Torterolo (分担執筆)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Academic Press	5. 総ページ数 220
3. 書名 The Behavioral, Molecular, Pharmacological, and Clinical Basis of the Sleep-Wake Cycle (担当範囲: Chapter 8 - Sleep Disorders and Genes)	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>徳島大学臨床心理情報学研究室 (山本哲也研究室) のwebサイト https://www.catlab.info 徳島大学教育研究者総覧 http://pub2.db.tokushima-u.ac.jp/ERD/person/304901/profile-ja.html researchmap https://researchmap.jp/tetsuya_yamamoto/</p>
--

6. 研究組織			
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	吉本 潤一郎 (YOSHIMOTO Junichiro) (10403346)	藤田医科大学・医学部・教授 (33916)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
メキシコ	Anahuac Mayab University			
ドイツ	Medical School Hamburg			
イタリア	European University of Rome			
米国	University of Pittsburgh			
ブラジル	Salgado de Oliveira University	Federal University of Rio de Janeiro	Federal University of Santa Maria	
ポルトガル	Polytechnic Institute of Porto			